

基本目標	地域資産を蓄積する	第1四半期
------	-----------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	申請済	登録済	登録	—
政策1	①ましこ検定の受験者数	人	6	170	—	—
	②ましこ世間遺産認定数(累計)	件	50	55	50	+8
政策2	①ランドスケープデザインの作成	—	作成	作成済	作成済	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	72.5	80.0	—	—
政策3	①地域ブランド調査ランキング	位	533	200位以内	—	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①日本遺産認定の発表(6/19)を受け、日本遺産認定記念「くす玉開披式」及び「共同記者会見」(6/22)を行った。また、笠間市と日本遺産推進に係る打合せ(6/24)を実施した。歴史や文化財の活用については、「第1回歴史文化基本構想推進委員会」及び「第1回歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会」の開催を中止とし、書面議決を行った。また、日下田邸(藍染工房)の文化財保存修理事業(茅葺き屋根全面葺き替え工事)が終了した。文化財シリーズについては、「広報ましこ」6月号に「世間遺産の文化財①～倉見沢古代窯跡～」を掲載し、広報活動を行った。</p> <p>②令和2年度ましこ世間遺産の申請受付(6/2)を開始した。6/30現在での申請件数は2件(日枝神社本殿、八雲神社夏祭り)である。また、令和元年度下期分ましこ世間遺産(4件)の案内看板の製作が終了し、設置の準備を行った。</p> <p>2 ①ランドスケープデザインの報告書が完成したことから、6月に町民向けに報告会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で9月に延期することとなった。町内の回遊性を高める道路整備の推進に関しては、町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務に着手した。</p> <p>②役場周辺土地区画整理事業は、4月1日の組合設立認可の公告を経て4月26日に組合設立総会を開催し、理事及び監事の選任を行った。今後は町の支援の下で組合が事業を進めていくこととなる。</p> <p>3 ①観光戦略会議内のブランディング部会で制定されたキャッチコピーやイラストなどのブランドイメージを踏まえて、今後のプロモーションのあり方の検討に着手した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、「ましこ夜市」等のおもてなし補助事業を見送りとする一方、「益子×セントアイヴス100年祭」事業は来年度へ延期とした。</p>	<p>1 ①日本遺産推進に向けて、笠間市や町観光商工課と連携し、笠間市で開催される「かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会」及び「認定記念祝賀会」(7/31)の準備を進めていく。また、日本遺産認定記念説明会「かさましこの日本遺産を知ろう！」(7/22)の開催やチラシ・ポスターの作成・配布等を通じて、多くの町民に対し周知を図っていく。文化財シリーズについては、「広報ましこ」7月号には「世間遺産の文化財②～藤根善治の墓～」、8月号には「世間遺産の文化財③～彫刻屋台(新町・内町)」及び日本遺産認定特集記事を掲載し、広報活動を行っていく。</p> <p>②ましこ世間遺産申請件数を増やすために、自治会長への働きかけ、町ホームページや広報ましこお知らせ版への掲載、Facebookへの投稿、防災無線の活用等により、周知を図っていく。また、案内看板については、7月中に設置していく。</p> <p>2 ①9月に延期となった町民向け報告会を通じて、ランドスケープの理解促進を図っていくと共に、ランドスケープ評議会を設立し、地区ごとの事業を計画的に進めていく。町道170号一の沢円道寺線(仮称)については、設計測量業務をスケジュール通りに進めていく。</p> <p>②役場周辺土地区画整理組合の令和2年度の主な事業は、仮換地案の作成業務であり、スケジュールに沿って事業を進めていく。また、引続き地権者の更なる理解促進と本同意取得の取組を継続していく。</p> <p>3 ①観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるブランディング計画を実施していく。</p> <p>今年度の開催が延期となった「益子×セントアイヴス100年祭」事業は、来年度の実施に向けて、インバウンド誘客に繋がる効果的な事業となるよう、関係団体と連携して準備を進めていく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	第2四半期
------	-----------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	登録済	登録済	登録済	—
政策1	①ましこ検定の受験者数	人	6	170	—	—
	②ましこ世間遺産認定数(累計)	件	50	55	52	—
政策2	①ランドスケープデザインの作成	—	作成	作成済	作成済	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	—	80.0	—	—
政策3	①地域ブランド調査ランキング	位	533	200位以内	429	+104

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①日本遺産認定記念説明会「かさましこの日本遺産を知ろう!」の開催(7/22)。参加者128名。また、「かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会」の開催(7/31)。出席者37名。日本遺産認定に伴い、ポスターやチラシの配布(82か所)、立て看板設置(7か所)、認定証設置(5か所)等を行った。歴史講座については、第1回「お盆の話」(8/29参加者44名)、第2回「日本遺産 益子古代窯跡を掘る!」(9/12参加者46名)、第3回「茅葺き屋根について」(9/26参加者43名)を開催し、文化財への関心を高めた。文化財シリーズについては、「広報ましこ」7月号に「世間遺産の文化財②～藤根善治の墓～」、8月号に「世間遺産の文化財③～彫刻屋台(新町・内町)」及び日本遺産認定特集記事、9月号に「世間遺産の文化財④～彫刻屋台②(田町・上棟柱立飾山車)」を掲載し、広報活動を行った。</p> <p>②ましこ世間遺産については、令和元年度下期案内看板設置完了(8/5)。また、令和2年度上期分認定式を開催(8/29)し、認定証(日枝神社本殿、八雲神社夏祭り)を授与した。</p> <p>2 ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となっていたランドスケープ計画報告会を、9月16日の全体報告会を皮切りに3地区で開催し、町民への周知及び理解促進に努めた。町道170号一の沢円道寺線(仮称)については、早期の設計完成に向けて計画的に測量を実施した。また平成30年度から着手した豆田橋の架け替え工事が計画通り完成し、7月31日から通行が可能となった。</p> <p>②役場周辺土地区画整理事業では、組合が4月に設立され事業が計画通りにスタートした。それに伴い事業内容を広く町民へ周知するため、町のホームページに区画整理事業のページを新たに開設した。</p> <p>3 ①観光戦略会議内のブランディング部会において、ポータルサイトを活用した新たなプロモーションの在り方の検討を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「益子×セントアイヴス100年祭」事業は来年度に延期となったが、陶芸美術館の企画展「英国で始まり」は予定通り6月28日からスタートした。</p>	<p>1 ①日本遺産ワーキンググループの事務局については、文化振興グループを益子町生涯学習課とし、観光振興グループを笠間市日本遺産推進室として活動を進めていく。今後、両グループの連携を図りながら、事業内容等について協議を行っていく。歴史講座については、第4回(2/6)及び第5回(3/6)の日程決定に伴い、講師との事前打ち合わせを行っていく。また、文化財シリーズについては、10月号に「世間遺産の文化財⑤～彫刻屋台③(原彫刻屋台・松本屋台)」、11月号に「日本遺産かさましこについて①～日本遺産のストーリー・益子古窯跡群～」、12月号に「日本遺産かさましこについて②～地蔵院(益子町)、楞嚴寺(笠間市)～」の掲載に向けて準備を進めていく。</p> <p>②令和2年度下期分世間遺産の募集については、12月以降に行い、申請件数を増やせるよう広報活動に努めていく。また、第5回ましこ検定については、検定日を令和3年2月27日(土)に決定した。今後、上級試験の内容・配点・問題等について検討していく。</p> <p>2 ①ランドスケープ計画の各プロジェクトについては、各地区の関係者との意見交換や調整を踏まえて、優先順位を付けながら対応していく。町道170号一の沢円道寺線(仮称)については、年度内に町民向け説明会が出来るように取組み、計画的な道路整備を進めていくと共に、橋梁の点検を定期的を実施し、危険度に応じて計画的に改修に取り組むことで、安全・安心なまちづくりを推進していく。</p> <p>②役場周辺土地区画整理事業の今年度の主要な事業は仮換地案の準備であることから、その前段となる換地設計基準と土地評価基準の制定を行っていく。また、引続き地権者の更なる理解促進と本同意取得の取組を継続していく。</p> <p>3 ①観光戦略会議内のブランディング部会で検討しているポータルサイトを活用したプロモーションについては、今後立上げ予定のDMOとの関係性を十分に踏まえて検討していく。延期となった「益子×セントアイヴス100年祭」事業は、今後のコロナ動向を注視しつつ、企画内容を再検討していく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	第3四半期
------	-----------	-------

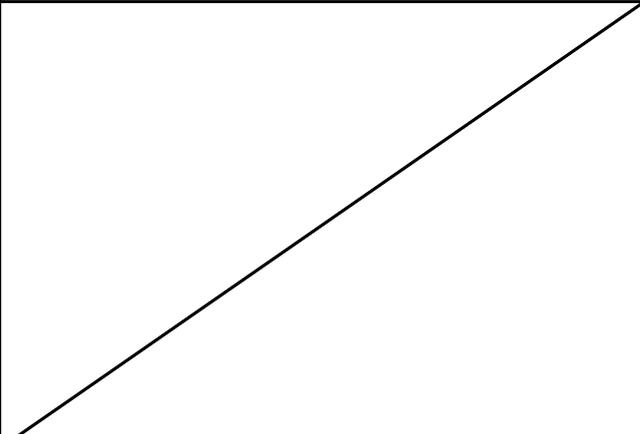
区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	選外	登録済	登録	—
政策1	①ましこ検定の受験者数	人	6	170	—	—
	②ましこ世間遺産認定数(累計)	件	50	55	52	—
政策2	①ランドスケープデザインの作成	—	作成	作成済	作成済	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	—	80.0	—	—
政策3	① 地域ブランド調査ランキング	位	533	200位以内	—	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①日本遺産の推進については、各ワーキンググループによる会議(第1回・第2回)を開催し、令和2年度事業の進捗状況報告及び令和3年度事業の計画(案)の検討を行った。また、日本遺産推進シンポジウム in 益子(11/27)や日本遺産認定記念「かさましこ」展～オープントレモニー～(12/25)など、関連事業を実施した。歴史や文化財の活用については、第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会を開催し、令和2年度文化財保存活用の活動状況報告及び令和3年度実施計画(案)の検討を行った。文化財シリーズについては、「広報ましこ」10月号に「世間遺産の文化財⑤～彫刻屋台③(原彫刻屋台・松本屋台)」、11月号に「日本遺産かさましこについて①～日本遺産のストーリー・益子古窯跡群～」を掲載し、文化財の魅力を紹介した。</p> <p>②風土や風景、風習の継承については、令和2年度下期分ましこ世間遺産の認定申請が12/1から始まり、3件(JAはが野益子観光いちご団地「益子いちご狩り団地」、上大羽自治会「どんど焼き」、鹿島神社総代会「八坂神社祇園祭」)の申請があった。また、アマガツ復活プロジェクトのイベントについては、田野小5年児童39名による間伐枝打ち体験(12/18)を実施した。</p> <p>2 ①ランドスケープ計画に基づく個別事業の進め方について検討を行い、それぞれの事業の課題や財政状況を踏まえ、優先順位を付けて中長期的な視点で取り組んでいく。町道170号一の沢円道寺線(仮称)については、より利用しやすい道路とするために一部設計変更を行った。</p> <p>②役場周辺土地地区画整理事業は令和2年4月に組合が設立されたが、その後、換地設計基準や土地評価基準等が総会で承認され、仮換地案の作成に向けた業務が計画通りスタートした。</p> <p>3 ①観光戦略会議のブランディング部会で検討してきたポータルサイトについて、令和3年度に設立予定のDMOとの関係性を十分に踏まえた活用の在り方について検討した。コロナ禍で延期となった「益子×セトアグス100年祭」については、来年度の企画内容の協議を行った。</p>	<p>1 ①第2回かさましこ日本遺産活性化協議会の開催(1/15)に向けて、各ワーキンググループの意見を整理し、会議の中で協議できるよう準備を進めていく。歴史講座については、3/6開催予定の第5回「笠間氏と益子氏」(講師：前上三川高校校長 松本一夫氏)のチラシを作成し、広報周知を図っていく。2/6開催予定の第4回「小泉壇山の画業」(講師：前芭蕉の館館長 小林聖夫氏)については、県内非常事態宣言発令中(1/13～2/7)のため中止とする。文化財シリーズについては、「広報ましこ」1月号に「日本遺産かさましこについて②～地蔵院(益子町)、楞嚴寺(笠間市)～」、2月号に「日本遺産かさましこについて③～宇都宮家の墓所(益子町)、笠間氏累代の墓地(笠間市)～」の掲載に向けて準備を進めていく。</p> <p>②令和2年度下期分ましこ世間遺産認定申請の期間終了後、現地調査(1/30)を実施していく。また、ましこ世間遺産認定式(2/27)の開催に向けて、認定証や合格特典等の準備を進めていく。アマガツ復活プロジェクトのイベントについては、田野小6年児童42名による植樹体験(2/12)に向けて、田野小や関係団体等との事前打合せを重ねていく。</p> <p>2 ①ランドスケープ計画の個別事業の実施に際しては、計画の主旨を踏まえつつ、町民や関係者と十分に連携を取りながら進めていく。町道170号一の沢円道寺線(仮称)については、変更後の設計を踏まえて、地権者等に対する説明会の準備をしていく。</p> <p>②役場周辺土地地区画整理事業では、今年度の主要事業である仮換地設計の準備を通じて、令和3年度に予定している仮換地設計と都市計画道路等実施設計が予定通り完了できるよう取り組んでいく。</p> <p>3 ①ブランディング部会で検討してきたポータルサイトのDMOにおける活用の在り方について、DMO設立後の業務運営の中で具体的に検討していく。延期となった「益子×セトアグス100年祭」事業は、今後のコロナの動向を注視しつつ、企画内容を再検討していく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	本年度総括 (第4四半期含)				
区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	選外	登録済	登録	—
政策1	① ましこ検定の受検者数	人	6	170	199	+193
	② ましこ世間遺産認定数(累計)	件	50	55	57	+7
政策2	① ランドスケープデザインの作成	—	作成	作成済	作成済	—
	② 地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	72.5	80.0	—	—
政策3	① 地域ブランド調査ランキング	位	533	200位以内	429	▲104

実施内容・成果の総括	次年度への方針
<p>1 ①日本遺産認定後、「かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会」(7/31、1/15)、「日本遺産推進シンポジウム in 益子」(11/27)、「日本遺産認定記念“かさましこ”展～オープンレモ～」(12/25)、日本遺産認定記念歴史講座「笠間氏と益子氏」(3/6)等を開催。また、「広報ましこ」11月号に「日本遺産“かさましこ”①～日本遺産のストーリー・益子古窯跡群～」、1月号に「日本遺産“かさましこ”②～地蔵院(益子町)、楞嚴寺(笠間市)～」、2月号に「日本遺産“かさましこ”③～宇都宮家の墓所(益子町)、笠間氏累代の墓地(笠間市)～」、3月号に「日本遺産“かさましこ”④～綱神社(益子町)・三所神社(笠間市)～」を掲載。ましこ検定の受検者数は199人(一般17人、田野中42人、益子中86人、七井中54人)。目標値達成。</p> <p>② 令和2年度上期分ましこ世間遺産認定式(8/29)では、2件(日枝神社本殿、八雲神社夏祭り)認定。下期分認定式(2/27)では5件(上大羽どんど焼き、八坂神社祇園祭、本郷稻荷山神社、お不動様と不動尊祭り、星の宮どんど焼き)認定。認定数は延べ57件。目標値達成。</p> <p>2 ①ランドスケープ計画の町民への周知及び理解促進を図るため、全体報告会と地区別報告会を開催した。当初の事業として、雨巻山駐車場と前沢町有林展望台の整備計画に着手した。計画の遂行に際しては、引続き町民に対して丁寧な説明を行い、相互理解の下で長期的な景観づくりに取り組んでいく。また、町道18号線の拡幅工事や町道170号線バypass工事等、安心安全や回遊性に配慮した道路整備を進めていく。</p> <p>②役場周辺土地区画整理事業は、組合が設立され事業がスタートした。計画通りに事業を進め、町民が集い豊かな時間を過ごせる街づくりや良好な住環境整備を進めていく。</p> <p>3 ①観光戦略会議のブランディング部会で検討してきた益子町ブランドコンセプトが完成し町のホームページにアップした。今後は「ましこラボ」と連携して統一した町のプロモーションを検討していく。</p>	

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	75%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	170人	現状値	199人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③亀岡八幡宮里山の会代表者との面会 ③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	5月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	6月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との活動方針の打合せ	
	7月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	8月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との次年度の活動方針の打合せ	
	9月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	10月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	11月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	12月			③亀岡八幡宮里山の会の多面的事業完了報告書作成支援	
	1月			③亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査	
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会については、現地確認や活動状況報告から、特に古墳周辺が年々整備がされていることを確認している。古墳群という歴史的な遺産だけでなく、春には満開に咲き誇る様々な桜や、約3haの地面いっぱいに咲く菜の花を見物しに県内外より多くのお客様にお越しいただいている場所なので、今後も整備を続けて行くためには活動組織との親密な関係の形成が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会の活動区域での森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し整備をすることもあるので関係事務所への事業内容等の報告、連絡調整をする。また事業を実施するにあたり地元の合意形成が必要となるため事業費や事業内容について、地元との意見交換をしていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会による景観対策のための整備については地元との合意形成が図られている。今後も整備を続けていくためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について適切な管理ができるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等協力をしていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③小宅地区の2.0haの多面的事業及び侵入竹対策事業の作業完了。今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について作業完了確認し、今後も適切な管理をできるように必要に応じて助言等をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③小宅馬場山地区について今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	

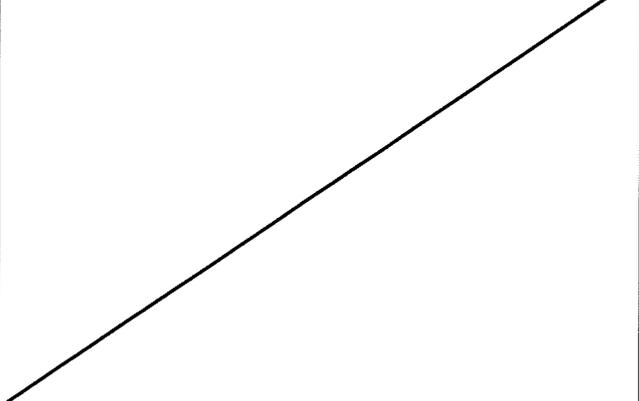
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・コロナ禍の中、今年も桜と菜の花が見事に花をつけていた。地元の皆様方の骨惜しみをせず作業される姿が素晴らしい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・亀岡八幡宮里山の会の方々の努力により、素晴らしい景観が作り出され守られている。メンバーの高齢化などもあり、今後とも支援を続けていただきたい。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	170人	現状値	199人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①日本遺産認定地域活性化に向けての取り組み ①第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（昨年度の実施報告・今年度の事業計画） ①第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（昨年度の実績報告及び収支決算・今年度の事業計画及び収支予算）	①歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の文化庁補助金の実施計画書・交付申請書を県に提出（4/13） ②第1回ましこ検定実行委員会は新型コロナウイルスの影響により、書面開催とし、資料を送付した（4/28、第4回ましこ検定結果報告・収支決算報告・令和2年度年間計画について） ③「日下田邸（染色工房併用）」の文化財保存修理事業補助金（県費）申請書を県に提出（4/7） ③日枝神社本殿保存修理事業費補助金の交付申請が町にあり、交付決定手続き完了（4/21） ④文化財HP更新（1件）		
	5月	②第1回ましこ検定実行委員会の開催（昨年度実施した、ましこ検定の結果報告） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座・歴史めぐりの開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）	①第1回歴史文化基本構想推進委員会は新型コロナウイルスの影響により、書面開催とし、資料を送付した（5/26 昨年度の実績報告・今年度の事業計画の協議について） ①第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の書面議決の通知発送（5/13）、資料・書面議決回答書送付（5/26） 昨年度の実績報告及び収支決算・今年度の事業計画及び収支予算の協議）→全員承認		
	6月		①日本遺産申請の結果発表（6/12内示、6/19発表 認定） ①日本遺産認定記念 くす玉開披式及び記者会見開催（6/22 記者：11社15名） ①日本遺産推進にかかる打ち合わせ（6/24 8名、6/25 9名、6/26 6名参加） ④広報ましこ6月号（世間遺産の文化財①～倉見沢古代窯跡～）掲載 文化財HP更新（1件）		
	7月		①日本遺産推進にかかる打ち合わせ（7/1 16名参加） 日本遺産関連補助金（文化芸術振興費補助金及び文化資源活用事業費補助金）交付要望書を県に提出（7/15） 日本遺産認定記念説明会「かさましこの日本遺産を知らう！」開催（7/22 128名参加） かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会開催（7/31 37名参加） ③「日下田邸（染色工房併用）」の文化財保存修理事業補助金（県費）実績報告書を県に提出（7/4） ④広報ましこ7月号（世間遺産の文化財②～藤根善治の墓～）掲載		
	8月	①日本遺産認定地域活性化に向けての取り組み ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）	①日本遺産推進にかかる打ち合わせ（8/12 11名参加） ①日本遺産認定ポスター・チラシ配布（82カ所）、立看板設置（7カ所）、認定証設置（5カ所）（8/12～8/18） ①那須塩原市視察（8/27 5名）場所：旧青木家那須別邸、那須野が原博物館、那須塩原市石川氏訪問 ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（8/25、9名参加 ましこ検定日程、難易度、合格証・特典について） ④第1回歴史講座兼文化財ガイド養成講座開催（8/29 44名参加）内容：お盆の話 講師：国立歴史民俗博物館教授 関澤まゆみ先生 ④広報ましこ8月号（日本遺産認定の特集記事）・（世間遺産の文化財③～彫刻屋台①～）掲載		
	9月		①日本遺産関連補助金採択額通知（内示）あり（9/8） ①日本遺産推進にかかる打ち合わせ（9/10 7名参加） ①日本遺産関連補助金（文化芸術振興費補助金及び文化資源活用事業費補助金）交付申請書を県に提出（9/14） ②ましこ検定問題作成検討会の開催（9/19、6名参加 上級試験の内容・配点・問題等の検討） ③令和3年度文化財関係補助事業計画ヒアリング（9/1 5名参加 綱神社及び地蔵院消火栓修理事業について） ④第2回歴史講座開催（9/12 46名参加）内容：日本遺産 益子古代窯跡を掘る！ 講師：栃木県埋蔵文化財センター副主幹兼整理課長 篠原祐一氏 ④第3回歴史講座兼第2回文化財ガイド養成講座開催（9/26 43名参加）内容：茅葺き屋根について 講師：茅葺き屋根保存協会専務取締役 古海賢一氏 ④広報ましこ9月号（世間遺産の文化財④～彫刻屋台②～）掲載		
	10月		①日本遺産推進ワーキンググループ（文化振興グループ）開催（10/8 11名参加） ①日本遺産フェスティバルin今治に参加（10/10） ①日本遺産推進ワーキンググループ（観光振興グループ）開催（10/16 笠間市） ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（10/29、9名参加 ましこ検定チラシ、上級試験の難易度、合格特典等の検討） ④広報ましこ10月号（世間遺産の文化財⑤～彫刻屋台③～）掲載		
	11月	①日本遺産認定地域活性化に向けての取り組み ①第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催 ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（出題問題の検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座・歴史めぐりの開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）	①日本遺産推進事業のプロポーザル審査（11/12 2件、11/16 2件、11/18 1件、11/20 1件） ②第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（11/4 13名参加） ①日本遺産推進シンポジウムin益子の開催（11/27 130名参加） ④広報ましこ11月号（日本遺産かさましこ①～日本遺産のストーリー・益子古窯跡群～）掲載		
	12月		①日本遺産事業プロポーザル審査で優先交渉権を獲得した業者との打合せ（12/3 合計18名参加） ①日本遺産事業に係る意見交換会（構成文化財所有者対象）開催（12/11 9名参加） ①日本遺産推進ワーキンググループ（観光振興グループ）開催（12/17 笠間市） ①日本遺産推進ワーキンググループ（文化振興グループ）開催（12/18 10名参加） ①日本遺産案内板及び説明板設置業務委託の指名競争入札（12/25） ①日本遺産認定記念「かさましこ」展オープニングセレモニー（12/25 笠間市）		
	1月		①日本遺産認定記念「かさましこ」展開催（1/5～1/17） ①第2回「かさましこ日本遺産活性化協議会」開催（1/15 31名参加） ②ましこ検定問題（中学生用、一般用（初級・中級・上級））作成 ④広報ましこ1月号（日本遺産かさましこ②～地蔵院本堂・楞嚴寺～）掲載		
	2月	①日本遺産認定地域活性化に向けての取り組み ②第4回ましこ検定実行委員会の開催（最終調整）、ましこ検定の実施 ③文化財防火訓練の開催（1/17実施予定） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）	②第4回ましこ検定実行委員会の開催（2/10、7名参加 第5回ましこ検定申込状況、中学生受検日程、問題（初級・中級・上級・中学生）の最終確認について） ②第5回ましこ検定実施（2/22、86名受検） ②第5回ましこ検定の実施（2/27、初級8名・中級3名・上級6名、計17名受検） ②2/6に開催予定していた第4回歴史講座兼第3回文化財ガイド養成講座「小泉檀山の画業」（講師：小林聖夫氏）については、新型コロナウイルスの影響により中止となってしまった。 ④広報ましこ2月号（日本遺産かさましこ③～宇都宮家の墓所及び笠間氏家代の墓地～）掲載		
	3月		②田野中検定実施（3/15、42名受検）、七井中検定実施（3/18、54名受検） ④第4回歴史講座兼第3回文化財ガイド養成講座開催（3/6 35名参加）内容：笠間氏と益子氏 講師：前上三川高校長 松本一夫氏 ④広報ましこ3月号（日本遺産かさましこ④～綱神社（摂社大倉神社含む）及び三所神社～）掲載		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①笠間市と共同申請した「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」は日本遺産認定となり、くす玉開披式及び記者会見を行ったが、今後地域活性化に向けて日本遺産の推進を図る必要あり。 ②ましこ検定の受検者数が少なかったため、今年度は上級試験を追加する方向で検討していく。また、昨年度は中学生が新型コロナウイルスの影響により受検できなかったが、一昨年受検した際は合格率が低かったため、中学生の合格率を上げる対策が必要である。 ③文化財修理補助金の交付決定者と連絡を密にとり、改修工事がスムーズに行えるようにバックアップをしていく。 ④広報ましこで世間遺産の文化財シリーズを掲載することで、町民の周知を図る必要あり。</p>	<p>①笠間市や観光商工課と連携し、かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会及び祝賀会の開催、シンポジウムを滞りなく実施するほか、文化庁補助金申請を期限までに提出する。また、日本遺産認定記念説明会やチラシ・ポスターを作成し、町民の皆さんに周知していく。 ②ましこ検定の中学生の合格率を上げる方策として、勉強会等講座を希望した学校については、ましこ検定実行委員会や観光ボランティアガイドましこの皆さんの協力をいただき、こちらから学校に向向いて町の概要や歴史、文化財等の講義ができればと考えている。 ③文化財所有者との連絡を密にする。 ④今後は町民の声に耳を傾け、このシリーズに反映できるよう検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①笠間市と共同申請した「かさましこ」が日本遺産となったため、今後も笠間市と連携し、事業を進めていく必要がある。 ①文化庁より文化芸術振興費補助金及び文化資源活用事業費補助金の採択額通知(内訳)があったが、要望額より減額されているため、事業精査を行い、申請書を提出した。 ②ましこ検定実行委員会では、検定日を2月27日(土)午前中に行うことで決定した。また、中学生受検は各中学校に働きかけを行うことや一般の部では上級試験を追加することとした。 ④広報ましこでは世間遺産について掲載してきたが、今後は日本遺産について掲載していく。</p>	<p>①かさましこ日本遺産活性化協議会設立総会のときに下部組織として設置することとなっていた日本遺産ワーキンググループについては、文化振興グループは益子町生涯学習課が担当で、観光振興グループは笠間市の日本遺産推進室が担当として進めることになったため、グループごとに会議を開き事業内容や契約方法等を検討していく。 ②各中学校の働きかけを行うことや、初級・中級・上級試験の問題等協議が必要である。 ④広報ましこでは日本遺産シリーズを掲載していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①各日本遺産推進ワーキンググループの中で、令和2年度事業の進捗状況報告及び令和3年度事業の計画案について提示し、意見をもらった。 ①日本遺産フェスティバルでは、他市町村のPRブースの視察、シンポジウム、公開講座(一部)の見学を行った。 ②ましこ検定実行委員会では、チラシのレイアウト、上級試験の内容・配点、合格特典(上級合格者は陶芸メッセのマグカップと名入りボールペン)を決定した。</p>	<p>①各日本遺産推進ワーキンググループの中で意見があったものについて、笠間市と協議し、来年度に反映できるものを第2回かさましこ日本遺産活性化協議会で諮っていく。 ①日本遺産フェスティバルで得た情報を笠間市と共有する。 ②ましこ検定実行委員会では意見をいただいた初級・中級・上級試験問題の検討、各中学校で開催するましこ検定の日程調整が必要。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①日本遺産に関しては、各事業に対してプロポーザル審査や入札方式を採用し、契約を結ぶことができた。今後も笠間市と連携を図るほか、2つのワーキンググループの意見を取り入れつつ、文化庁の補助金を活用し、地域活性化の取組を進めていきたい。 ②ましこ検定(一般の部) : 受検者 17名、合格者 13名 ましこ検定(中学生の部) : 受検者 182名、合格者 65名 合計 : 受検者 199名、合格者 78名 今年度から一般の部で上級試験を開催したことから受検者数は前年度に比べ、増加した。また、中学生の部では前回正答率が低かったため、比較的わかりやすい益子町の概要を増やし、文化財の問題を少なく設定したことで正答率が大幅にアップした。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

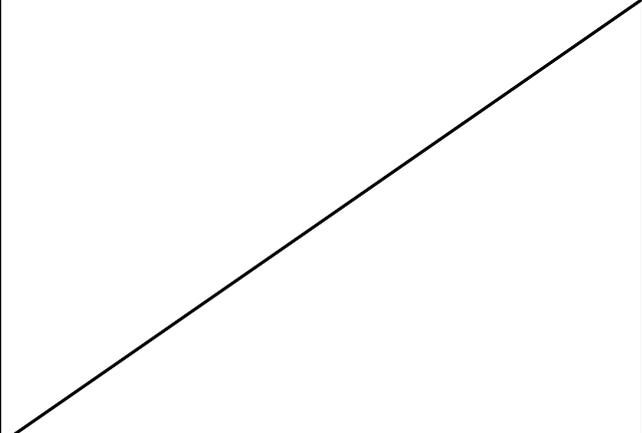
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・本年のましこ検定は、コロナ禍の中、授業時間の削減を余儀なくされたの高校受験、卒業式などを考慮し、中学三年生に限っては、細心の注意のもと、実施の可否も含め検討されるよう要望したい。 ・日本遺産の認定、おめでとございます。これからの活動を期待したい。	・ましこ検定の中学生受験については、例年1年生を対象としており、今年度も1年生以外の受験者については希望者のみの実施を考えている。 ・日本遺産については、今後笠間市との連携を深めつつ、認知度を高め、多くの来訪者に来ていただけるよう事業を進めていきたい。
	第2 四半期		
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・日本遺産認定が叶い、笠間市と連絡を取りながら、様々な活動がなされている。コロナ禍で苦勞があると思うが、今後とも町民の意識を高める取組を期待する。 ・ましこ検定を継続し、郷土の歴史や文化に興味を持つ人を増やしたい。 ・日本遺産についてはKPIを達成しており、笠間との連携は今後益子の窯業界にとってもプラスに作用すると期待している。 ・ましこ検定はKPIを達成しているが、委員会も組織されており、これで終わるのでなく、子供から高齢者まで間口を広げ、生涯学習の観点からも、益子を知る人を増やすことで郷土愛も高まると考える。今後の継続を望む。	
	第4 四半期		

		課局名	総務課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	55件	現状値	57件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者との撮影内容の確認	
	5月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	6月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	7月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	8月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	9月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者との業務委託契約の実施伺いを行った。	
	10月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ	
	11月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画撮影委託業者や生涯学習課の職員とともに、認定された「ましこ世間遺産」の動画を撮影し、編集作業を進める。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ	
	12月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	1月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ	
	2月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。記録・保存した「ましこ世間遺産」の動画については、ホームページ上にアップし町内外に発信し魅力を伝える。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ	
	3月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画を作成しホームページにアップし町内外にPRした。	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>平成29年度は、ましこ世間遺産に認定された11件、平成30年度は16件、令和元年度は19件動画を撮影し、ホームページにアップすることができた。今年度は、昨年度下期認定の4件及び今年度認定予定の5件を撮影する予定のため、撮影委託業者と撮影内容の確認をした。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>ましこ世間遺産の昨年度下期認定の4件と、今年度上期認定の2件の撮影の準備を進めた。しかし、新ましこ未来計画が今年度までで、来年度以降、認定の予定がなく予算計上も不鮮明なため、今年度は下期も含めて撮影する見通し。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度下期認定の4件と、今年度上期認定の2件）の撮影の準備を進めた</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度下期認定の4件、今年度上期認定の2件及び下期認定の5件）の撮影を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により行事等が中止になったため、写真の静止画を使用してビデオを作成し、ホームページ上にアップすることができた。</p>	

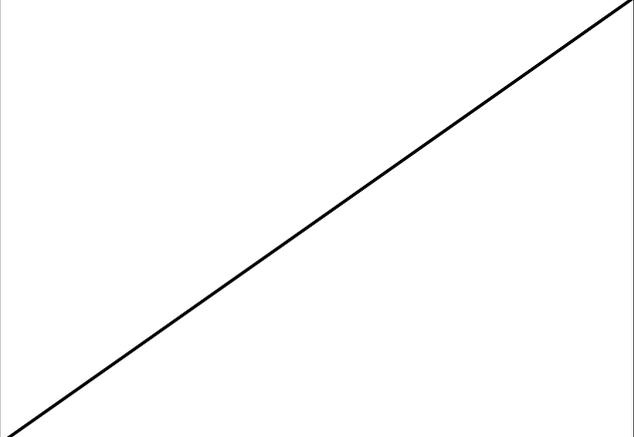
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・世間遺産についてホームページでの紹介はできたので、今後はそれを町民・町外の方々にもっと知っていただくことと思う。道の駅などで他の文化財や観光スポットなどと、大きな画面での映像を紹介すると興味がわくと思う。	

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	75%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	55件	現状値	57件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②アカマツ復活プロジェクト実施に向けた森林環境譲与税事業活用等に関する県東環境森林事務所との意見交換	
	5月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ	
	6月			②アカマツ復活プロジェクト実施地の下刈り作業参加	
	7月			②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ	
	8月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ	
	9月			②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて田野小学校と打合せ	
	10月			②枝打ち体験箇所の現地を確認した結果、今年度から間伐作業を体験してもらうこととした。（県東環境森林事務所、益子里山の会、環境課）	
	11月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施（間伐枝打ち体験等）		②アカマツ復活プロジェクト次年度以降の事業について打合せ	
	12月			②間伐体験箇所の下刈等実施（益子里山の会、環境課） ②田野小学校5年生児童による間伐体験を実施	
	1月			②植樹体験箇所の現地確認	
	2月	②アカマツ復活プロジェクトイベント実施（植樹等）		②植樹箇所の下刈り作業	
	3月			②アカマツ復活プロジェクト次年度以降の事業について打合せ	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②今年度も益子の森において、町内小学生による間伐枝打ち体験及び植樹体験を計画している。昨年度まではとちぎの元気な森づくり事業を活用していたが、今年度から森林環境譲与税を活用して事業を実施する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトのイベント開催については、開催時期、内容等について、県東環境森林事務所、益子里山の会、田野小学校と協議を行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては今年度のイベント実施について県東環境森林事務所及び益子里山の会と打合せや現地確認を行った。また、イベントの実施にあたっては、森林環境譲与税事業等を活用する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについてはイベント開催に向け、開催日時、開催内容等県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また益子里山の会や田野小学校と事前打合せを実施して行く。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては、県、益子里山の会および田野小学校と協議を重ね、森林環境譲与税を活用し、益子の森にて田野小5年生による間伐体験を実施した。ほとんどの児童が初体験のように記憶に残る体験であったと思われる。第4四半期のイベントについても県、益子里山の会および田野小と開催時期、開催内容、事業費充当について協議をした。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては第4四半期に植樹体験を予定しているため、森林環境譲与税活用のため県東環境森林事務所と協議をする。また関係団体や田野小学校などに対しても、事前打合せを重ねていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては令和3年2月のイベント開催に向けて県及び益子里山の会と連携を図った。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、田野小5年生による植栽体験は実施を見送った。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・アカマツ復活プロジェクトは、関係者からの意見を参考に、今後の方向性を提示されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・小学生が森林での活動をする事は、今どきの家庭ではほとんどできないことなので、活動を継続して、益子を取り巻く山々に興味をもってもらいたいと思います。町木のアカマツや町花のヤマユリは、公共施設に、目立つ存在としてあると良いかと思う。 ・アカマツ復活プロジェクトについては行政の熱意が伝わってこない。益子にとって、景観形成や焼き物文化継承なども含め、当プロジェクトには取り組んで欲しい大切な役割が内包されている。ランドスケープ計画を視野に、長期的な計画を期待したい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	55件	現状値	57件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①年度変更に伴う祭り等の日程変更についてHP更新（4/16） ①第1回実行委員会は新型コロナウイルスの影響により、書面開催とし、資料を発送した（4/28、環境整備費補助金の実績報告・取支決算報告・令和2年度年間計画について） ①令和元年度下期分世間遺産案内看板製作中（4件分）	
	5月	①第1回ましこ世間遺産実行委員会の開催（昨年度支給した環境整備費補助金の実績報告） ①今まで世間遺産に認定された箇所のHP更新 ①令和元年度下期分ましこ世間遺産の案内看板製作・設置（同意を得た箇所） ①令和2年度世間遺産申請受付開始の広報作成 ③町指定の祭り・お囃子団体に交付金を交付する		①令和元年度下期分世間遺産案内看板製作終了（5月下旬） ①自治会長会議配布資料で世間遺産申請募集について周知（HP（5/20）、広報ましこお知らせ版（5/31）、広報ましこ（6/1）で6/2～世間遺産申請の受付を開始することの周知） ③文化財振興交付金の交付（28件）	
	6月			①防災無線（6/30）で世間遺産申請受付中の周知	
	7月			①令和2年度上期分世間遺産申請2件（7/1） ①令和元年度下期分世間遺産案内看板設置（2箇所 7/1・7/2） ①FB（7/3）で世間遺産申請受付中の周知 ①環境整備費補助金申請（7/31現在 2件）	
	8月	①ましこ世間遺産申請場所の現地調査 ①第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催（審査会、認定式日程） ①ましこ世間遺産認定式 ①認定箇所の広報周知（広報ましこ、お知らせ版、HPなど） ①案内看板製作 ①環境整備費補助金事務の遂行		①令和元年度下期分世間遺産案内看板設置（2箇所 8/5） ①令和2年度上期分世間遺産申請2件現地調査（8/8 7名参加） ①第2回ましこ世間遺産実行委員会（8/25 9名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、申請した2件ともに認定された。） ①令和2年度上期分世間遺産認定式の開催（8/29 9名参加） ①環境整備費補助金申請（8月中 3件）	
	9月			—	
	10月			①広報ましこ10月号に認定された令和2年度上期分世間遺産の紹介記事を掲載した。 ①第3回ましこ世間遺産実行委員会（10/29 9名参加 令和2年度下期分ましこ世間遺産募集についてスケジュールを決定した）	
	11月	①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催（下期開催の検討） ①環境整備費補助金事務の遂行		①HP（11/20）、広報ましこお知らせ版（11/24）で12/1～令和2年度下期分世間遺産申請の受付を開始することを周知した ①環境整備費補助金申請（11月中 3件） ①令和2年度上期分世間遺産案内看板製作中	
	12月			①広報ましこ（12/1）、FB（12/1）、防災無線（12/1）、自治会長会議配布資料（12/20）で12/1～令和2年度下期分世間遺産申請の受付を開始していることを周知した ①令和2年度上期分世間遺産案内看板設置完了（12/17） ①環境整備費補助金申請（12月中 4件）	
	1月			①世間遺産申請件数7件、世間遺産の現地調査（3カ所）（1/30、5名参加） ①環境整備費補助金申請（1月中、2件）	
	2月	①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（審査会、認定式日程） ①環境整備費補助金事務の遂行		①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（2/10、7名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、申請された7件のうち認定されたのは5件。1件は以前認定された箇所と組み合わせることとなった。ましこ世間遺産環境整備費補助金交付要綱は3年間延長決定。認定式の日程・場所の確認をした。） ①ましこ世間遺産認定式の開催（2/27、14名参加） ①環境整備費補助金申請（2月中、2件）	
	3月			①世間遺産案内看板製作中 ①環境整備費補助金申請（3月中、9件）	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする。 ①令和元年度下期分世間遺産案内看板の設置をする。</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする。自治会長への働きかけや町HPへの掲載等を通して周知を図っていく。 ①令和元年度下期分世間遺産案内看板の設置をする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産実行委員会で認定された世間遺産2件（日枝神社本殿、八雲神社夏祭り）の案内看板製作を行う。なお、世間遺産の募集は下期も行うこととし、例年通り12月中旬～1月中旬で行う予定。認定式は2/27午後と決めた。世間遺産環境整備費補助金は要綱上、今年度で終了することとなっているが、一律3年間延長する方向で進める。</p>	<p>①認定された世間遺産の案内看板製作・設置を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①令和2年度下期分ましこ世間遺産募集の申請期間は12/1（火）～1/16（土）、現地調査は1/30（土）、認定式は2/27（土）午後に決定。</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする。世間遺産の募集はこれで最後となるため、自治会長への働きかけや町HPへの掲載等を通して周知を図っていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①世間遺産の認定数の目標値が今年度55件（累計）であったが、57件となり、目標以上の認定件数を達成することができた。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	・今後も年間計画に基づき、事業運営を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・認定された世間遺産が長く親しまれるよう、引き続き関係団体の活動の援助や見守りが必要だと思う。 ・ましこ世間遺産についてはKPIは達成しているが、今後遺産の維持・活用については、官民一体で知恵の集積を願う。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	ましこのランドスケープデザインの作成	進捗状況	100%		
KPI	ランドスケープデザインの作成	本年度目標値	作成済	現状値	作成済
KPI	(成果代用指数) 町道の改良率	本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①②補助金交付申請ヒアリング (4/14) ③補助事業まちづくりヒアリング (4/14)		
	5月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心な町づくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。益子町ランドスケープ計画の推進	①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計業務を発注した。 ③小宅、七井地区関係者説明 (6/21) 埴地区、益子芳星高校に説明 (6/26)		
	6月		①②補助金交付申請ヒアリング (6/3) ③ランドスケープ計画推進についての打合せ (6/15) 日経新聞掲載 (6/22) 部課長会議にて、各課のランドスケープ実施計画説明 (6/24) 益子町県都市計画課との景観行政団体についての打合せ (6/29)		
	7月		①②下町踏切の冠水箇所の土木事務所との打ち合わせ 7/7 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量打合せ 7/15 豆田橋の工事が完了した 7/31 ③栃木県施設課、益子芳星高校の浅間塚古墳について、現地にて打合せ (7/17) ランドスケープ全体説明会打合せ (7/20)		
	8月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心な町づくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。益子町ランドスケープ計画の推進	①②橋梁検査打合せ 8/5 ③雨巻山登山口駐車場整備について、観光商工課との打合せ (8/6) 雨巻山登山口駐車場増設に係る関係地権者への事業説明 (8/7)		
	9月		①②下大羽益子線の土木事務所との打ち合わせ。9/2 土砂災害防止法の基礎調査に関する説明会 9/30 ③町民大学にて、ランドスケープ計画説明 (9/14) ランドスケープ全体報告会 (9/16) ランドスケープ計画打合せ (9/25) ランドスケープ田野地区報告会 (9/25) ランドスケープ七井地区報告会 (9/28)		
	10月		①②県道下大羽益子線の説明会 10/1 釜ヶ入沢説明会 10/8 町道170号線(仮称)の打合せ 10/20 ③ランドスケープ計画打合せ (10/19)		
	11月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心な町づくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。益子町ランドスケープ計画の推進	①②町道170号線(仮称)の打合せ 県道黒田市埴真岡線地権者宅随伴(11/6) ③ランドスケープ計画打合せ (11/16) ランドスケープ計画Web会議 (11/25)		
	12月		③ランドスケープ計画打合せ (12/17) 雨巻山登山道駐車場の現地打合せ (12/22)		
	1月		①②③円道寺池周辺計画の現地打合せ (1/15)		
	2月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心な町づくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。益子町ランドスケープ計画の推進	①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う自治会長地権者宅訪問(2/4) 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量打合せ (2/8) 町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う地権者宅訪問(2/26)訪問 ③田野地区ランドスケープ計画打合せ (2/16)		
	3月		①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う地権者来庁法線の変更による設計の見直しの承諾を得る。(3/22) ③前沢町有林ランドスケープ計画打合せ (3/2)		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務を発注し、設計に入った。 ③益子町ランドスケープ計画を町民の方と情報共有する。</p>	<p>①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務を進めていき、今後のスケジュールを速やかに進捗させていく。 ③9月のランドスケープ全体報告会に向けて、準備を進めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②町道170号(仮称)の設計を進め変更等を行った。 下町付近の踏切については県とよく協議し、水路整備等を考えていく。 橋梁の点検について打合せを行った。 豆田橋が完成し通行可能となった。 ③益子町ランドスケープ計画を町民の方と情報共有する。</p>	<p>①②町道17号(仮称)については設計を完成させ、今年度に説明会を行えるようにする。 下町の踏切付近の冠水発生箇所については今後どのようにしていくか詰めていく。 橋梁は点検を行い、危険度が高い順に今後の改修に向けて準備をしていく。 ③各地区のプロジェクトについて、関係者に説明していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①②県道下大羽益子線の説明会にいつ参加した。 釜ヶ入沢砂防工事の説明会にいつ参加した。 町道170号線の設計変更の打ち合わせを行った。 ③益子町ランドスケープ計画を町民の方と情報共有する。</p>	<p>①②県道下大羽益子線、釜ヶ入沢砂防ダムの計画は県に協力しながら整備の促進を図る。町道170号(仮称)は設計の変更を行いより良い道路として地権者に説明会を行えるよう準備を行う。下町の踏切付近の冠水発生箇所については今後どのようにしていくか詰めていく。具体的に！ ③各地区のプロジェクトについて、関係者に説明していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②町道170号一の沢円道寺線(仮称)の県道の取り付けに対し、隣接経柳雄が近く危険等を県より指摘され、また、警察協議でも指摘される可能性が高いこと、橋梁設置が思ったより、高いため、法線を町道170号線に変更する案を出し、その際かかってしまう地権者への説明を行った。 ③益子町ランドスケープ計画を町民の方と情報共有する。</p>	

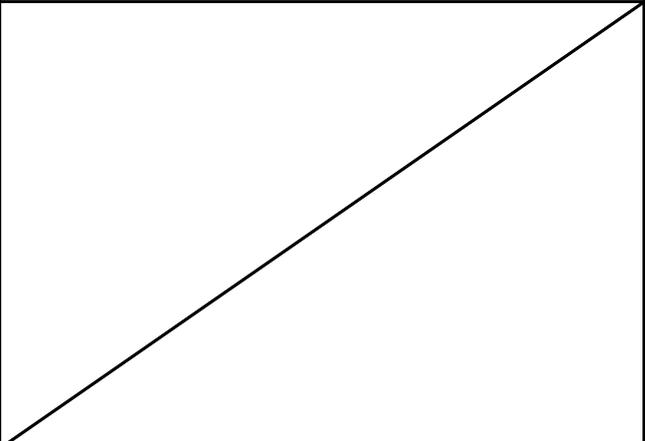
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	今後については、地域住民、関係団体、関係機関と協議しながら、計画を推進していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・ランドスケープデザインについては、説明会に参加し、夢が広がった。今後計画を進める際は、地域の民意を参酌しながら進められたい。 ・すばらしいランドスケープデザインができたと思う。ただ、史跡（遺跡）周辺については、生涯学習課との連携をより深めて計画を推進していただきたい。 ・安全安心な町づくりについては、七井地区の下町付近、踏切冠水の解消は地域住民の長年の悲願である。現地縦断測量が実施され、住民は行政の迅速な対応を評価し、事業の推進を期待している。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・ランドスケープデザインの作成は達成された。今後は住民の方々とよく話し合いながら（知らない人も多いと思うので）、修正も加えながら、それぞれの土地に合ったものになることを望む。 ・防災や安全な道路づくりはとても大切である。 ・ランドスケープデザインはKPIを達成し、町民の期待は大きいと思われる。具体的な事業の計画、推進については、町民の要望が反映されるよう望む。	

		課局名	環境課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備			
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%			
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	80.0%	現状値	66.2%	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月			②地域団体代表者と今年度の活動方針の相談		
	5月			②両会における森林山村多面的機能発揮対策事業申請書の作成支援 ②益子花の会草刈支援		
	6月			②両会における菜種の収穫状況の確認		
	7月			②両会の活動状況（現場）確認		
	8月			②両会の次年度活動計画の作成支援		
	9月			②両会の活動状況（現場）確認		
	10月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の活動支援		②両会の活動状況（現場）確認		
	11月			②両会の活動状況（現場）確認		
	12月			②両会の多面的事業完了報告書の作成支援		
	1月			②亀岡八幡宮里山の会、益子花の会の事業完了確認検査		
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ		
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会については亀岡八幡宮内の古墳群が会員の熱心な草刈、植栽、生育活動等により毎年美しく整備されている。両会とも今後も様々な取組を計画しており、引き続き活動を支援できるよう両会との情報交換をして親密な関係性を形成してゆくことが重要。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるよう資料作成の支援や、みどり推進機構との連絡調整をする。また、両会と、今後の活動にあたっての問題点、改善点について意見交換をして持続的な活動の支援をする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその地区の活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしていくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付を受けている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるようみどり推進機構との連絡調整をする。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について各会とも意見交換及び情報交換をする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺の、亀岡八幡宮里山の会についてはその地区の活動を確認した。今後も引き続き適切に活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしていくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、従来から交付をうけていた森林・山村多面的機能発揮対策交付金を有効に活用し、みどり推進事業との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・亀岡八幡宮里山の会、益子花の会の両会は、地域住民が頑張っている。切れ目のない補助事業が導入できるように指導されることを願っている。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・益子花の会・亀岡八幡宮里山の会については、活動が続くように支援を続けていただきたい。 ・自然環境の整備は一朝一夕にできるものではない。未来の益子の魅力度や満足度が100%になるための準備期間だと考えて継続すべきと思う。 ・益子花の会、亀岡八幡宮里山の会共に積極的な行政の支援により、両組織の活性化がうかがえる。さらなる支援を地元では期待している。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	80.0%	現状値	66.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②大郷戸ダム見回り点検・草刈り・の実施		
	5月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。 ランドスケープデザインの検討	②大郷戸ダム見回り点検・草刈り・の実施		
	6月		②大郷戸ダム見回り点検・草刈り・の実施		
	7月		②7/21 大郷戸ダム見回り点検 キャンプ客へ火気厳禁の声かけを実施 ダム周りの町道の砂利敷きを建設課へ依頼		
	8月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。 ランドスケープデザインの検討	②8/26 大郷戸ダム見回り点検 キャンプ客へ火気厳禁の声かけを実施		
	9月		②9/24 大郷戸ダム見回り点検		
	10月		②10/21 大郷戸ダム見回り点検		
	11月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。 ランドスケープデザインの検討	②11/24 大郷戸ダム見回り点検		
	12月		②12/23 大郷戸ダム見回り点検 火気の使用について注意喚起の貼り紙を設置		
	1月		②1/4 大郷戸ダム見回り点検		
	2月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。 ランドスケープデザインの検討	②2/16 大郷戸ダム見回り点検 キャンプ客が2名いたため、火気の使用について注意 するよう声掛けを実施		
	3月		②3/11 大郷戸ダム見回り点検		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②コロナ禍で5月に立入規制をしたにもかかわらず、多数の方がダムに来所した。当初から本ダムは釣りは禁止であるが、ヘラブナの釣り人が立ち入りしたと思われる。ごみの散乱ではなく、釣り人のマナーは比較的良好だが、釣り人立ち入りについてダム管理者である土地改良区と協議する必要がある。</p>	<p>②ランドスケープの対象地区のひとつとして、大郷戸ダム周辺の景観が選ばれた。ダム上流部に景観植物の植栽を検討する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②コロナ禍による立入規制が解除され、釣り人が多く来所している。また、コロナウイルスの影響かは不明だが、キャンプ客を頻繁に見かけるようになり、火気厳禁の親水公園内で火気を使用している客も見受けられた。釣り人の立入について土地改良区と協議するとともに、火気厳禁の周知徹底をする必要がある。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう、引き続き見回りを実施するとともに、火気厳禁の貼り紙を設置する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②親水公園内でキャンプを行っている方が目立ってきている。多い日は15人程の方が来て、テントを張っている。マナーを遵守しながら、如何にして安全に利用してもらうかが課題である。</p>	<p>②現在、親水公園内でのキャンプについては禁止としていない。ただし、地面での直火焼きやゴミ散乱等が見受けられれば、立ち入りを禁止することとしている。(既にその旨の張り紙を設置している) キャンプ客のほとんどの方が道の駅ましこで食材等を購入しており、町の経済アップに寄与していることから、マナーの良い人にリピーターとして利用してもらい、町の魅力度アップにつながればと考える。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>土地改良施設である大郷戸ダムを活用した、改良区の財源づくりを進める必要がある。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・自然環境の整備は一朝一夕にできるものではない。未来の益子の魅力度や満足度が100%になるための準備期間だと考えて継続すべきと思う。 ・大郷戸ダムも親水公園もとても景観の良いところなので、マナーを守っての活用を望む。山火事やゴミの散乱を防ぎ、自然を大切にできるように、見回りや声かけを続けていただきたい。 ・地域への愛着割合はKPI未達だが、具体的行動については順調に推進している項目もあり、本項目についても継続されたい。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備			
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%			
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	80.0%	現状値	66.2%	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	②雨卷山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		②雨卷山登山者用駐車場、トイレの維持管理業務（通年） ②地域資源の環境整備においては、各民間団体により実施されている 雨卷山（いくべ会）円道寺池（花の会）小宅古墳群（小宅自治会）大郷戸アルプス周遊コース（三登谷会） ④益子の森遊具の整備については2018.2019事業として実施済（県東環境森林事務所事業） ⑤ランドスケープ計画と合わせて観光ルートの検討する		
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
	9月					
	10月					
	11月					
	12月					⑤ランドスケープ（雨卷山駐車場整備）事業 R3設計R4整備予定 整備予定地の地権者との現地打合せ 12/10
	1月					④益子の森敷地内について犬の放し飼問題 「栃木県動物愛護・管理条例」喚起の看板設置を県へ依頼 1/6 R3看板設置予定
	2月					
	3月					②土祭2021アート企画により、円道寺池周辺ルートを活用した「森を歩く」プロジェクトを企画 ②土祭2021アート企画により、小宅古墳群を活用した「丘で踊る」プロジェクトを企画 ③土祭2021アート企画により、町内に点在する神社を活用した「7つの神社を巡る」プロジェクトを企画

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。 ④益子の森遊具の安全管理と効果的なPRに努める。</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討。 ④益子の森の安全管理と効果的なPRについては、県東環境森林事務所と協力の上推進していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。 ④益子の森遊具の安全管理と効果的なPRに努める。</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討。 ④益子の森の安全管理と効果的なPRについては、県東環境森林事務所と協力の上推進していく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている ②土祭企画をきっかけに地域資産を活用した観光コンテンツを造成し、土祭終了後においても観光周遊ポイントとして継続していけるよう検討する ④益子の森遊具の安全管理と効果的なPRに努める ⑤ランドスケープ事業と連携し、雨巻山駐車場整備を検討する</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討 ④益子の森の安全管理と効果的なPRについては、県東環境森林事務所と協力の上推進していく ⑤ランドスケープ計画に基づき、景観を活かした観光整備を図る</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている ②土祭企画をきっかけに地域資産を活用した観光コンテンツを造成し、土祭終了後においても観光周遊ポイントとして継続していけるよう検討する ④益子の森遊具の安全管理と効果的なPRに努める ⑤ランドスケープ事業と連携し、雨巻山駐車場整備を検討する</p>	

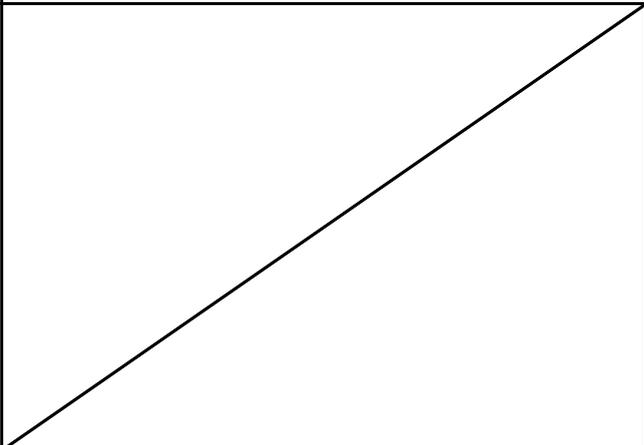
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	第2四半期の方針・改善点を踏まえて実施する。 地域資産を活用した観光ルートづくりに向けて、観光整備団体と、観光団体との調整を図りながら検討してまいりたい。
	第2四半期	②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A:目標を達成・・・0委員 B:目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C:成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D:成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・自然環境の整備は一朝一夕にできるものではない。未来の益子の魅力度や満足度が100%になるための準備期間だと考えて継続すべきと思う。	（対角線あり）
	総括（第4四半期も含む）	・既存の施設を含め、新たな観光・周遊ルートの見直しや作成がなされ、地域への愛着を感じる人が増えているように思う。引き続き文化財や施設の所有者、関係団体、自治会、住民の方々の理解を得、連携しあうことを望む。 ・②円道寺周辺ルートを活用した森を歩くプロジェクト企画は、特性をいかした地域創生を目指し活動する益子花の会の今後の活動に大きな刺激となると思われるため、一過性に終わらず、現自然環境を生かした回遊ルート整備を花の会と連携して進めていただきたい。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	80.0%	現状値	66.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		① 役場周辺土地区画整理事業 告示 4/1 役場周辺土地区画整理準備会 第11回役員会 4/8 R2社会資本整備総合交付金ヒアリング 4/14 役場周辺土地区画整理組合 設立総会、第1回役員会 4/26 ⑤ 補助金交付申請ヒアリング(4/14)		
	5月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、役場周辺土地区画整理組合事業の支援を行う ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	① 役場周辺土地区画整理組合 第2回役員会 5/20 ⑤ 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務を発注		
	6月		① R3社会資本整備総合交付金 概算要望ヒアリング 6/3 組合 業務委託事業 入札 6/12 換地設計準備等業務委託 6/17 ⑤ 補助金交付申請ヒアリング(6/3)		
	7月		① 栃木県土地区画整理事業連合協議会総会 7/8 東京電力と無電柱化打合せ 7/30 ⑤ 町道4号自治会長打合せ訪問 7/6 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量打合せ 7/15 豆田橋の工事が完了した 7/31		
	8月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、役場周辺土地区画整理組合事業の支援を行う ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	① 第3回役員会（業務委託・臨時総会、土地評価基準） 8/29 ⑤ 町道4号、155号地権者 8/7、8/26		
	9月		① 町HPへ区画整理事業ページ開設 9/3 業務委託入札、評価委員会開催 9/17 路線測量業務委託契約 9/25 ⑤ 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量打合せ 9/28		
	10月		① R2社会資本整備総合交付金 進捗状況ヒアリング 10/9 臨時総会 10/17 町内在住の未同意者に対し臨宅 10/21 ⑤R2社会資本整備総合交付金進捗ヒアリング 10/9 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の変更設計測量打合せ 10/20		
	11月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、役場周辺土地区画整理組合事業の支援を行う ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	① 第4回役員会(図書館候補地) 11/18		
	12月		① 図書館建設候補地決定の延期について通知発送 12/23		
	1月		① 第5回役員会（保留地の検討、国庫補助追加要望について） 1/26⑤		
	2月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、役場周辺土地区画整理組合事業の支援を行う ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	① 第6回役員会（第3回総会、業務委託について） 2/16 ⑤町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う自治会長地権者宅訪問(2/4) ⑤町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量打合せ(2/8) ⑤町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う地権者宅訪問(2/26)		
	3月		③ 第3回総会(補正予算) 3/14 第7回役員会(入札について) 3/14(総会終了後) 入札(業務委託4本) 3/24 ⑤ 町道170号一の沢円道寺線(仮称)線形変更に伴う地権者来庁法線の変更による設計の見直しの承諾を得る。(3/22)		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>① 区画整理事業での未同意者は、現在8名となっている。</p> <p>⑤ 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務を発注し、設計に入った。</p>	<p>① 未同意者は、減歩や仮換地場所による未同意であることから、事業実施スケジュールにそって仮換地(案)を作成し、同意取得に努める。</p> <p>⑤ 町道170号一の沢円道寺線(仮称)の設計測量業務を進めていき、今後のスケジュールを速やかに進捗させていく。</p>
	<p>① 土地評価基準(案)について、10月17日に臨時総会を開催し、承認を得る。</p> <p>今年度の業務委託については、発注完了した。</p> <p>⑤ 町道170号(仮称)の設計を進め変更等を行った。</p> <p>町道4号、155号の自治会長や重要となる地権者に接触を行った。</p> <p>豆田橋がいつ完成し通行可能となった。</p>	<p>① 仮換地(案)作成に向け、事業を進め、そのうえで未同意者の同意取得に努める。</p> <p>⑤ 町道17号(仮称)については設計を完成させ、今年度に説明会を行えるようにする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>① 図書館建設候補地の決定が12月から年度内に延期されたため、図書館ありとなしの場合の仮換地(案)作成を1月から行っていく。</p> <p>⑤ 町道170号(仮称)の変更設計設計を進め変更等を行った。</p>	<p>① 図書館建設候補地が区画整理地内に決定した場合に対応できるように準備をして、仮換地(案)を作成できるようにしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>① 役員会で保留地(案)を検討を行い、R2国庫補助追加要望でR3実施予定事業の一部の補助金を確保した。3/14第3回総会で補正予算を議決し、3/24に入札を実施した。</p> <p>⑤町道170号一の沢円道寺線(仮称)の県道の取り付けに対し、隣接経柳雄が近く危険等を県より指摘され、また、警察協議でも指摘される可能性が高いこと、橋梁設置が思ったより、高いため、法線を町道170号線に変更する案を出し、その際かかってしまう地権者への説明を行った。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	百目鬼川の景観整備については、引き続きランドスケープ担当と役場周辺土地区画整理組合、関係機関と協議を行い、推進していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・役場周辺土地区画整理とランドスケープデザインの整合性を計り、百目鬼川の景観整備（錦鯉が泳ぐ憩いの川）事業が実現されることを前回に引き続き重ねて要望したい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	/
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・KPIは目標値には及ばないが、町民の6割が愛着や誇りを感じているという現状はある程度満足できるレベルだと思う。更に創意工夫し、益子でよかったと思う人達を増やしていただきたい。 ・図書館や道路の整備など難問だと思うが、町民の夢や安心、安全な町づくりが叶うことを願う。 ・役場周辺土地区画整理についてはKPIは設定していないが、成果は大きいと思う。豊かな時間が過ごせる場所については、多方面からの要望を参酌されることを望む。例えば、百目鬼川周辺に錦鯉が泳ぐ水辺公園のようなもの。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	80.0%	現状値	66.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			—	
	5月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。		②小宅古墳群菜種の刈り取り作業の手伝い（5/30、9名参加）	
	6月			—	
	7月			—	
	8月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。		—	
	9月			②小宅古墳群菜の花の種まきの手伝い（9/26、21名参加（子ども11名・大人7名・職員3名）	
	10月			—	
	11月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。		—	
	12月			—	
	1月			—	
	2月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。		—	
	3月			②小宅古墳群の菜の花・桜まつりの会場設営	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、今後も重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力していきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 ・ 亀岡八幡宮里山の会、益子花の会の両会は、地域住民が頑張っている。切れ目のない補助事業が導入できるように指導されることを願っている。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・ 菜の花の種まきに子供達が11人も参加していたことは驚きだった。若い方々を巻き込み活動が続くよう、引き続き支援を望む。 ・ KPIは目標値には及ばないが、町民の6割が愛着や誇りを感じているという現状はある程度満足できるレベルだと思う。更に創意工夫し、益子でよかったと思う人達を増やしていただきたい。 ・ 地域への愛着割合はKPI未達だが、具体的行動については順調に推進している項目もあり、本項目についても継続されたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	魅力あるブランドイメージづくり		
施策	町のブランドイメージの確立	進捗状況	100%		
KPI	地域ブランド調査 魅力度市区町村ランキング	本年度目標値	200位以内	現状値	429位
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①町のブランドイメージを確立し、戦略的プロモーションを行う。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールス等による国内外プロモーション事業の推進。		①②観光戦略ブランディング部会 4/7 ③コロナ禍により、おもてなし補助事業の開催予定なし ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会「事業企画について」 4/17	
	5月				
	6月			①県ブランド向上会議「栃木県のブランディング」について庁内意見交換会 6/3 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会 陶芸×絵画展「英国で始まり」勉強会 6/30	
	7月	①観光戦略ブランディング部会による町のブランドイメージ制作・発信。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		①②観光戦略ブランディング部会「企画事業について」 7/10 ④まちづくりアドバイザー深澤直人×町長WEB打合せ 7/27 英国プロモーション事業について 未利用地活用計画について（中部環境跡地）	
	8月			①②観光戦略ブランディング部会「企画事業について」 8/7 ④まちづくりアドバイザー深澤直人×良品計画 8/19 トップセールスにより良品計画本社 金井会長を訪問 まちづくり事業・未利用地活用計画について事業協力依頼	
	9月				
	10月	①観光戦略ブランディング部会による町のブランドイメージ制作・発信。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		④英国100年祭プロモーション事業「益子焼新商品開発企画」について まちづくりアドバイザー深澤直人×町長WEB打合せ 10/7 ④まちづくり事業・未利用地活用計画（中部環境跡地） 良品計画金井会長が益子町視察 10/23	
	11月			④まちづくり事業・未利用地活用計画（中部環境跡地） 良品計画担当者WEB打合せ 11/6 良品計画担当者3名が益子町視察 11/26	
	12月			①②観光戦略ブランディング部会とDMOとの打合せ 12/11 体験&交流ポータルサイトについて ①②観光戦略ブランディング部会 出席2名 12/25 体験&交流ポータルサイトについて（DMOとの調整会議） ③おもてなし補助金事業「駅からいちご狩り」オープニング除幕式 12/15 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会広報委員会「WEBサイト構成検討」出席7名 12/9 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会企画検討会議「ましこ市」出席3名 12/18 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会「事業計画について」出席6名 12/23	
	1月			④まちづくり事業 良品計画担当者4名が益子町視察 1/20	
	2月	①観光戦略ブランディング部会による町のブランドイメージ制作・発信。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		①②観光戦略ブランディング部会「観光ポータルサイトについて」 2/2 ③WEB授業講師（宇大付属小4年生）「益子町の観光について」 2/2 ④まちづくり事業・未利用地活用計画（中部環境跡地） 良品計画担当者6名が益子町視察 2/24 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会広報委員会「R3事業検討」出席7名 2/26	
	3月			③おもてなし補助金事業「益子ロゲイニング」参加者122名 3/27 ④益子×セントアイヴス100年祭実行委員会「R3事業検討」出席7名 3/26 ④英国100年祭プロモーション事業「益子焼新商品開発企画」について まちづくりアドバイザー深澤直人來町 3/30	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②ブランディング部会において、町の「ランドイメージ」(ロゴ・イラスト)が制作され、今後のプロモーションのあり方を検討していく ③コロナ禍の状況を踏まえて、おもてなし事業企画を検討する必要がある ④コロナ禍により益子×セトアケス100年祭事業の1年延期(令和3年度開催)が決定した。今年度における情報発信や、次年度に向けた企画・制作準備を進めていく。</p>	<p>①②観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるようなブランディング計画に努める。 ④事業スケジュール・予算の組直しを検討する</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②ブランディング部会において、ポータルサイト構築を中心としたプロモーションのあり方を検討していく ③コロナ禍の状況を踏まえて、おもてなし事業企画を検討する必要がある ④コロナ禍により益子×セトアケス100年祭事業の1年延期(令和3年度開催)が決定した。今年度における情報発信や、次年度に向けた企画・制作準備を進めていく。</p>	<p>①②観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるようなブランディング計画に努める。 ④事業スケジュール・予算の組直しを検討する</p>
	<p>①②交流&体験ポータルサイトの基本設計(ブランディング部会)と運用(DMO)との検討事項について協議し、調整を進める。 ③コロナ禍の状況を踏まえて、おもてなし事業企画を検討する必要がある ④コロナ禍により益子×セトアケス100年祭事業の1年延期(令和3年度開催)が決定した。今年度における情報発信や、次年度に向けた企画・制作準備を進めていく。</p>	<p>①②観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるようなブランディング計画に努める。 ④事業スケジュール・予算の組直しを検討する</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②交流&体験ポータルサイトの基本設計(ブランディング部会)と運用(DMO)との検討事項について協議し、調整を進める。 ③おもてなし補助事業によるイベント開催についてコロナ感染予防対策を行った上で、安全に実施することが出来た。 ④国際交流事業である益子×セトアケス100年祭事業(英国プロモーション事業)の1年延期(令和4年度開催)を検討する。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・日本遺産に認定され、今後ブランドイメージが向上すると期待している。	第2四半期の方針・改善点を踏まえて実施する。 日本遺産活性化協議会における「受入環境整備」「人材育成」「調査研究」「普及啓発」等の事業を通じて日本遺産ブランドの拡充し、観光誘客につながるプロモーションを図っていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A:目標を達成・・・0委員 B:目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C:成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D:成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・KPIの魅力度ランキングでは目標値を達成できていなかったが、町の観光等を考えると、何としても町独自の良さをアピールする必要があるので、別の方法を探り、取組を継続した方が良いと思う。 ・若い方々も含めて、様々なアイデアを出して取り組んでいるように感じる。コロナ禍で大変だろうが、今後の活動を期待する。 ・日本遺産認定により、今後に期待したい。	
	総括（第4四半期も含む）		